

岩手県内の水稲の出穂状況（8月5日現在概況速報）について

農業普及技術課 農業革新支援担当

1 水稲の出穂状況（県内農業改良普及センターによる一斉調査）

- （1）県内の水稲の出穂始期（10％）は平年に比べ2日早い7月29日頃でした。
- （2）8月5日現在、県全体の出穂割合は89％（平年差+27ポイント）となっており、平年よりも3日早く出穂盛期（50％）に達したとみられます。

表 地帯別 水稲の出穂状況（8月5日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	本年	出穂割合（％）				出穂時期（月／日） ²⁾					
		過年次同時期				始期 盛期 終期			平年差（日） ³⁾		
		平年	R5	R4	R3				始期	盛期	終期
北上川上流	84	59	71	38	91	7/29	8/2		-2	-2	
北上川下流	90	65	85	47	92	7/29	8/1		-2	-2	
東 部	81	52	65	35	88	7/26	(7/31)		-6	(-5)	
北 部	95	54	72	49	91	7/27	7/30		-5	-5	
県 全 体 ¹⁾	89	62	80	44	92	7/29	(8/1)		-2	(-3)	

- 1) 県全体…地帯別の水稲作付面積比による加重平均。
- 2) 出穂時期…始期：10％、盛期：50％、終期：90％の水田で出穂した日。（）内は盛期未到達の市町村を含むため推定値。
- 3) 平 年…平成26年～令和5年の10ヵ年の平均値。

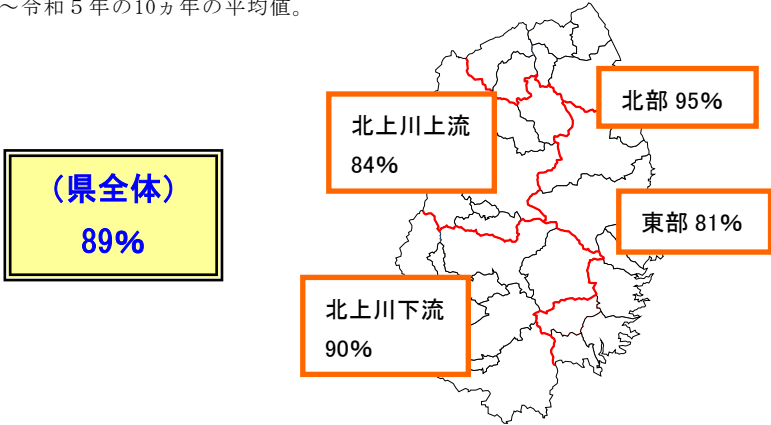


図 水稲の地帯別出穂割合（8月5日現在：各農業改良普及センター調べ）

2 当面の技術対策

高温による玄米品質の低下を防ぐため、水管理や防除等の徹底により品質向上を図ります。

- （1）水管理
出穂期は、浅水管理とします。
登熟期は、間断かんがい（数日間隔で湛水・落水を繰り返す）とし、夜間入水を基本とします。
登熟前半は高温が予想されるため、水の入替え頻度を多くして根の活力維持を図ります。
- （2）穂いもち防除
いもち病（穂いもち）の発生量は「並」から「やや少」の見込みです¹⁾。
ほ場を観察し、上位葉に葉いもちの発生がみられる場合は、茎葉散布を実施します。
- （3）斑点米カメムシ防除
斑点米カメムシの発生量は「多」の見込みです^{1), 2)}。
穂揃期の1週間後の薬剤防除を徹底します。なお、地域一斉に防除すると効果が高まります。
- （4）適期刈取りの準備
高温により刈取り時期が早まることが予想されますので、適期刈取りに向けた準備を進めます。

参考 1) 令和6年度農作物病害虫発生予察情報 発生予察 第5号（8月予報）（岩手県病害虫防除所 2024. 7. 31）
2) 令和6年度病害虫発生予察情報 注意報第2号（岩手県病害虫防除所 2024. 7. 31）